



SEKONIC CO., LTD.

Printed in JAPAN

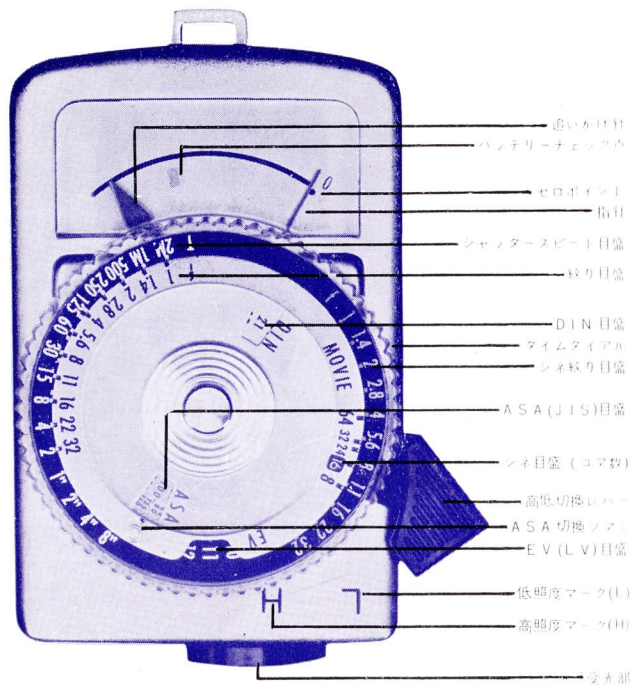


SEKONIC

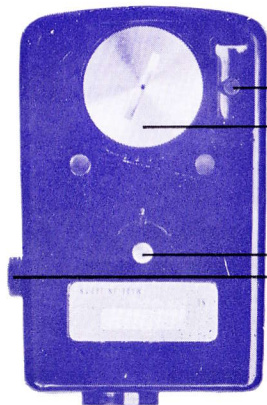
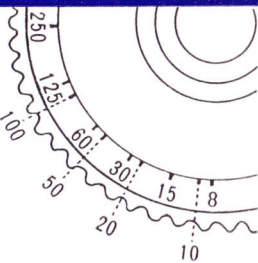
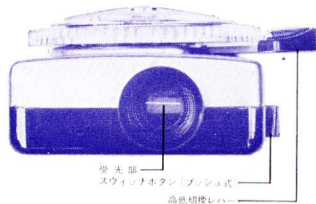
MICRO-LEADER

model L-98 說明書

各部名称

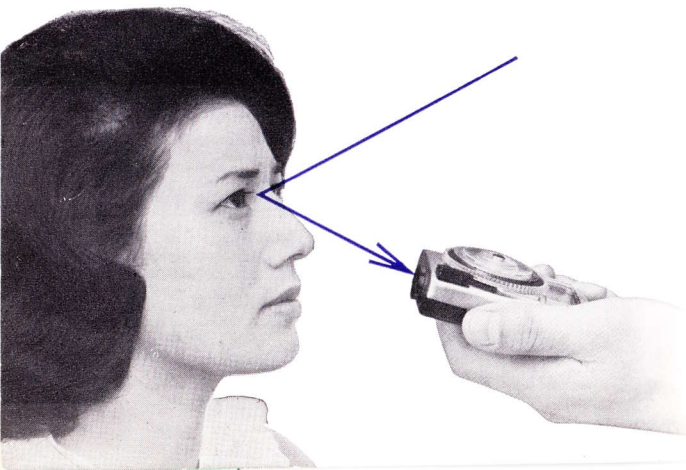


$M = \frac{1}{1000}$ 1° = 1秒



● 反射光式露出計を上手にお使い下さい。

皆様にお求め頂きましたこのセコニックメーターL-98は、反射光式露出計です。反射光式とは、光が被写体にあたってはねかえる反射光線（輝度）を測る方式ですから、入射光のように被写体にあたる光を測らないように御注意下さい。このL-98型は、露出計の分野で世界第一位のセコニックが、豊富な経験と優秀な技術の粋を結集して世に出しました最もすぐれたメーターです。受光感光体に硫化カドミウム(CdS)を使用して居りますから、測定可能範囲が広く、いつ、どんな場所でもたゞちに適正露出が得られます。しかも大変薄く軽いのでポケットにも入りますし、操作は片手でも簡単に出来ます。

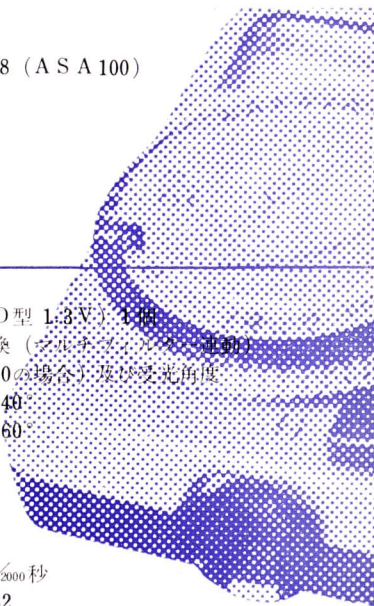


● 特徴

- 超高感度CdS (硫化カドミウム) 使用
- 極薄型軽量 追針式
- 反射光式 高低二段切換
- 測定可能範囲 LV3~18 (ASA 100)
- 押しボタン式スイッチ
- バッテリーチェッカー付

● 仕様

- CdS (MRP63) 1個
- 水銀電池 (ナショナルMD型 L:3V) 1個
- 反射光方式 高低二段切換 (光学センサーが自動)
- 測定可能範囲 (ASA 100の場合) 及び受光角度
 - 高照度 LV10~18 40°
 - 低照度 LV3~11 60°
- LV目盛 -2~19
- ASA目盛 6~12,000
- DIN目盛 9~42
- 絞り目盛 F1~32
- シャッター目盛 8秒^{1/2000}秒
- シネ目盛 (絞り) F1~32
(コマ数) 8~64コマ
- 大きさ 50.6×77.2×28.3 mm
ダイヤル直径 48.5 mm
- 重量 120gr

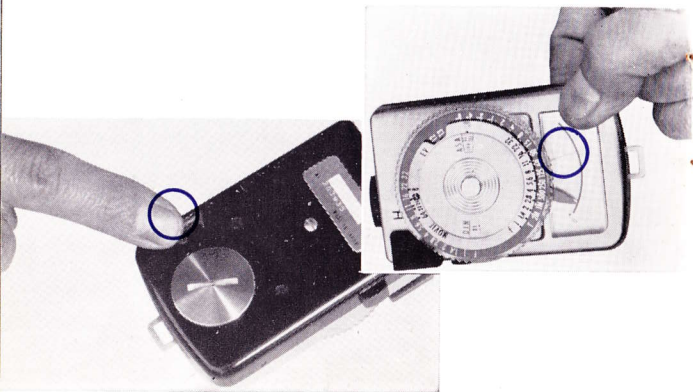


● 水銀電池を入れて下さい。

御使用になる前にまず水銀電池を水銀電池ボックスに入れて下さい。この場合、水銀電池のM-Dと刻印のある側を上にして（水銀電池ボックスの蓋と接触するように）入れて下さい。水銀電池を入れましたら蓋をキチンとしてバッテリーチェックボタンを押して下さい。指針がバッテリーチェック点に達していれば、電池は充分あるわけですから準備はOKです。

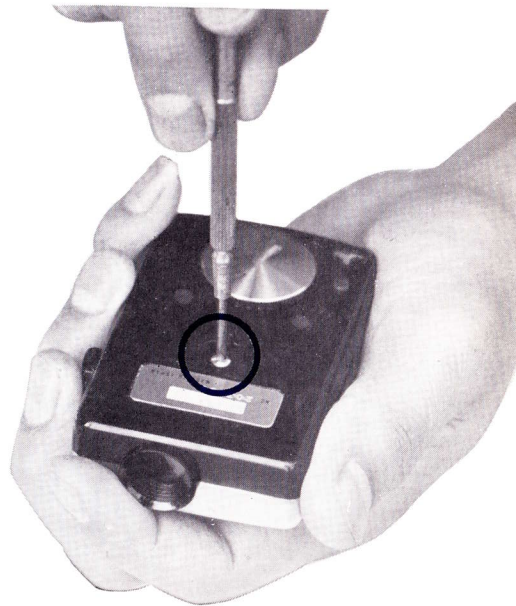
バッテリーの交換

この水銀電池はフルスケール（メーターを一杯に振らせた状態）にして約60日間保ちますから、普通にお使いたまれば約1年間保ちます。しかし、時々バッテリーチェックボタンを押して、指針がバッテリーチェック点に達しているかどうかを確認して下さい。もし、チェック点に達しない場合は、正確な露出を得られませんから、新しい電池とお取り換え下さい。この水銀電池はナショナルMD型1.3Vです。



● 指針をゼロポイントに合わせて下さい。

水銀電池を入れましたら、指針がスイッチボタンを押さない時にゼロポイントを指しているかどうかを確認して下さい。もしスイッチボタンを押していないのに、指針がゼロポイント以外の処を指していましたら、水銀電池ボックスの上側にあるゼロ調整ネジをドライバーで左右に廻して、指針がゼロポイントを指すように調整して下さい。

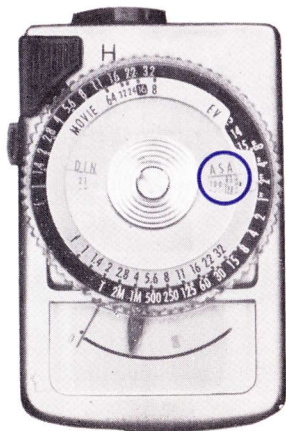
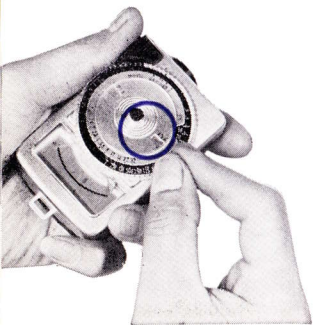


● 反射光式露出計を正しくお使い下さい。

水銀電池を入れ、バッテリーを確かめ、指針がゼロポイントを指しているならば、あなたのセコニックメーターL-98型は完全に正確な露出を測ることが出来ます。あとは貴方が如何に正しくこの反射光式露出計をお使いになるかという問題が残ります。ではさっそく「正しい使用法」をお知らせしましょう。

《ASA (JIS) 目盛を合わせて下さい》

先づ、あなたがお使いになるフィルムの感光度数値 (ASA (JIS) 数値) を、フィルムの説明書でお調べ下さい。普通SSはASA (JIS) 100、SSSはASA (JIS) 200、カラーフィルムはASA (JIS) 10です。そうして例えばASA (JIS) 100の場合、写真のように高低切換レバーを指で固定しておいてASA切換ツマミを廻してASA窓にASA目盛 100をセットして下さい。



《受光部を被写体に向けて下さい》

前にものべましたように反射式露出計ですから、被写体に当って反射してくる光の強さ (輝度) を測って下さい。ですからカメラの方向から受光部を被写体に向けて測って下さい。

A カメラ位置からの測り方

この方法は最も簡単に素早く適正露出が得られる方法で、風景などの撮影に使います。

この場合、受光部を地平線とご自分の足元の間に向けて測って下さい。たゞ漠然と被写体に向けたのでは空からの光が入って露出不足になりますから御注意下さい。しかしその風景が広く展開した風景であったり、また遠くの山々を写すような場合は、メーターの指示する値を $\frac{1}{2}$ にきりつめて下さい。それは空気光の影響で被写体の暗部が明るくなり、被写体のコントラストが低調になるからです。もしF22で $\frac{1}{500}$ 秒とメーターが指示しましたならば、 $\frac{1}{500}$ 秒 $\times\frac{1}{2}$ = $\frac{1}{1000}$ 秒、つまりF22で $\frac{1}{1000}$ 秒が正しい露出となります。



B クローズアップの場合の測り方

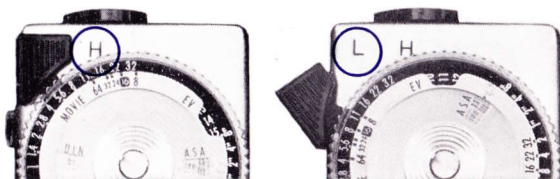
この方法は被写体の明暗の差が激しい場合（明るい所は非常に明るく、暗い所は極端に暗い）には最も正しい露出が得られます。

まず被写体の最明部と最暗部を各々クローズアップで測定し得られた二つの中間の露出…つまり両方の平均値をセットして下さい。この方法によってポートレートなどを撮影する場合、ハイライト（最明部）とシャドウ（最暗部）の比を4：1以内にするように補助光線やリフレクターをお使いになって調節すれば一層美しい写真が撮れます。又、カラー撮影の場合には、特にライトバランスを4：1以内にするように心掛けて下さい。



スイッチボタンを押して下さい

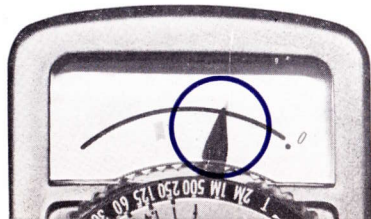
正しい方法でメーターを被写体に向けましたならば、そのままの状態ですwitchボタンを押して下さい。もし写真Aの状態（高照度）で指針が作動しない場合は、写真Bの状態（低照度）に高低切換レバーをいっぱいに移動させてからスイッチボタンを押して下さい。



A B

タイムダイヤルを廻して指針の指示した位置に追かけ針を重ねて下さい

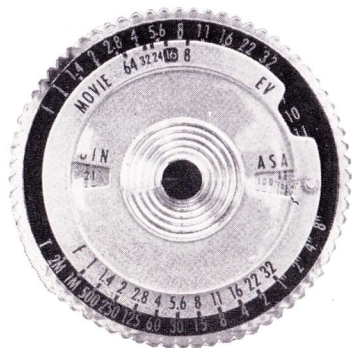
スイッチボタンを押しますと指針は約1秒後に一定の個処に止まります。その止った指針の上にタイムダイヤルを廻して追かけ針を重ねて下さい。



カメラにセットして下さい

指針と追かけ針が重った時、そこに組合わされた絞り目盛とシャッタースピード目盛が適正露出です。例えば、F5.6で $\frac{1}{60}$ 秒と組合わされた場合は、F4で $\frac{1}{30}$ 秒、F2で $\frac{1}{15}$ 秒、F1.4で $\frac{1}{8}$ 秒などの組合せが、各々正しい露出の組合せとなるわけです。ですから被写体の状態、スピードや撮影意図によって、シャッタースピードを早くする必要があるれば絞りはそれだけ開き、絞りを絞る必要があるればシャッタースピードはそれだけ遅くすればよいわけです。

そうしてダイヤル上に組合わされた適正露出をそのままあなたのカメラにセットして下さい。ライトバリュウ・システムのシャッター付カメラをお持ちの方は、EV (LV) 目盛を読みとってカメラにセットして下さい。



● 特殊な場合の測定方法

1. コントラスト (明暗比) の強い時

この方法はポートレート、被写体の部分を強調したい時、或いはバックはあまり必要としない時などに使います。

この方法で測る時はメーター受光部を被写体に約10cm位にちかづけてお測り下さい。人物 (ポートレート) は特殊な場合を除いて最も大切な所は「顔」ですから、「顔」に出来るだけ近づいて顔から反射してくる光を測って下さい。被写体にちかよれない場合は、被写体と同じ光線状態にした手のひら又は標準反射板を測って下さい。いずれにしても、顔や手のひらにメーターの影が入らないように御注意下さい。

2. 非常に暗い場所での測り方

メーターを低照度 (8 写真真B参照) にした時にも指針が振れないような非常に暗い場合は、メーター受光部を直接光源 (例えば月) の方に向けて得られた値を10倍して下さい。例えばF1.4で $\frac{1}{60}$ 秒というダイヤルの組合せになりましたならば、 $\frac{1}{60} \times 10 = \frac{1}{6}$ ですから適正露出はF1.4で約1秒ということになります。



3. 逆光の場合の測り方

A. 被写体を逆光でシルエットにするとき

メーター受光部をバックの明るい空などに向けて測り、その指示通りに撮影して下さい。つまり露出はバックの明るさに合わされたわけですから、目的の被写体は露出不足となる為に真黒なシルエットになります。

B. 逆光下で被写体を描写するとき

メーター受光部を被写体の暗部に近づけて測って下さい。この際バックの光（逆光線）がメーターに少しでも入らないよう御注意下さい。

C. 逆光下で被写体もバックも共に描写したいとき

メーター受光部を最初に被写体暗部に向けて測り、次にバックの明るい処を測ります。バックの測り方は6頁のA、カメラの位置からの測り方を参照して下さい。そうしてこの2つの方法で得られた値の中間をカメラにセットして下さい。しかし被写体の値とバックの値とのコントラストが1:16以上のひらきがある時は、この方法の描写は困難です。



A

B

C

4. フィルターを使用する時

このセコニック露出メーターL-98型にはフィルター倍数目盛がついていませんから、まずメーターにより求めた露出に対して、フィルター・メーカーが指示している露出倍数を掛けて撮影して下さい。例えばY2のフィルターで露出倍数2倍の時、メーター指示がF8 $\frac{1}{50}$ 秒の場合には、 $\frac{1}{50}$ 秒 \times 2 = $\frac{1}{25}$ 秒となり、F8で $\frac{1}{25}$ 秒がこの場合の適正露出ということになります。

5. 接写の場合の露出の求め方

$$\text{実効絞り値} = \frac{\text{指示絞り値} \times \text{レンズとフィルムの距離}}{\text{レンズ表示焦点距離}}$$

例えば、焦点距離50mm、レンズとフィルム面が100mm、メーターの指示がF4で $\frac{1}{50}$ 秒だったとします。この場合上記の公式にあてはめると実効絞り値は $\frac{4 \times 100}{50} = 8$ となり、F4に絞っても実際にはF8だけしか働いていないこととなります。従って露出は4倍しなければなりませんから、F8で4秒かF4で1秒が適正露出となります。

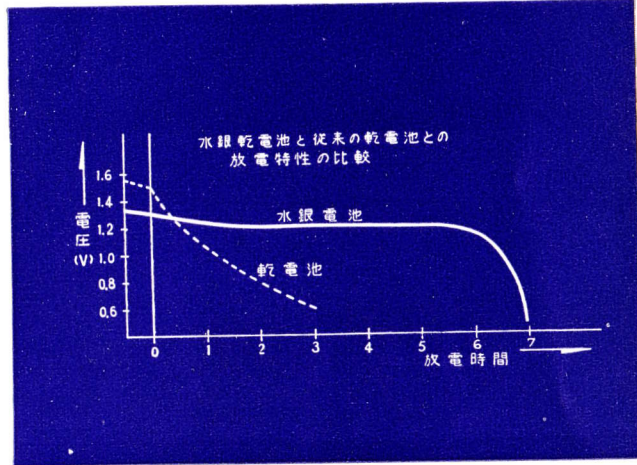
● シネ撮影の場合

シネ撮影の場合の測り方は普通のカメラの測定方法と全く同じです。但しシネカメラのシャッタースピードは普通のカメラと違って、一秒間のフィルム回転速度が8・16・32・64というコマ数単位になって居りますから、撮影機の御使用になるコマ数に適合する絞り値を、メーターのシネ目盛の処を讀取って御使用下さい。

シネ撮影のうち、8ミリは特殊撮影を除いて16コマ ($\frac{1}{50}$ 秒) が標準コマ数とされており、 $\frac{1}{50}$ 秒の対向絞り値をお使い頂いてもあやまりではありません。



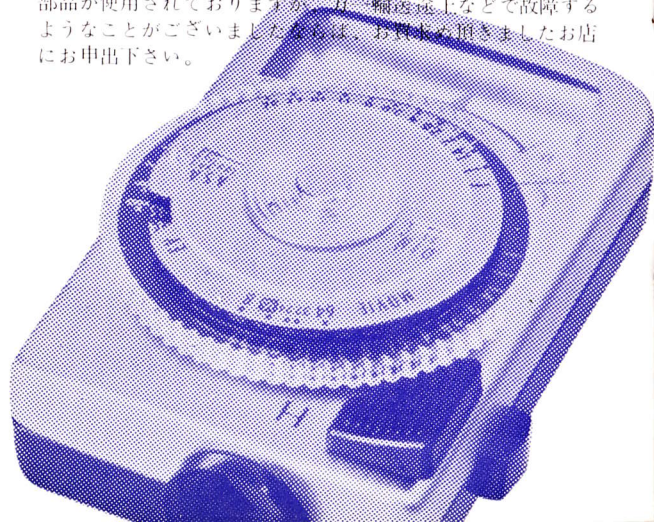
● 露出メーター保存上の注意



1. 湿気が多い所に長い間放置しないで下さい。
2. 60°C以上の高温を与えないで下さい。
3. 落したり、ぶつけたり、急な衝撃を与えないで下さい。
4. 長い間使用しないでしまっておく時には、革ケースより取出して、桐箱にシリカゲル（防湿剤）と一緒に保存して下さい。但し金庫や金属の容器への保存は避けて下さい。
5. 長い間使用しないでしまっておく時には、水銀電池をメーターより取り出して、ポリエチレンの袋につつんで別納して下さい。

● アフターサービスは完全です

セコニックはアフターサービスに特に重点を置いておりますから、いつまでも安心して御使用になれます。このメーターのパッケージに同封してありますセコニック・ファンカードに各々記入事項をお書込みの上、おはやめに弊社サービス課までお送り下さい。お客様名簿（登録台帳）にあなたの御氏名、御住所が記載され、ただちに登録通知書をお送り致します。この日より一年間に、万一メーターが自然故障を起しました場合は無料にて修理させて頂きます。その他の事故故障でも、実費にて早急に修理させて頂きますのでどしどしお申付け下さい。このメーターは合理化された近代的なJIS指定工場に於て、ビス一本に至るまで厳格な検査をパスした部品が使用されておりますが、万一輸送途上などで故障するようないことがございましたら、お買求め頂きましたお店にお申出下さい。



セコニック製品サービスステーション

サービス課	東京都中央区日本橋本石町3~4	TEL (270) 3765-6
大阪支店	大阪市南区北炭屋町27(大京ビル内)	TEL (271) 4905
名古屋営業所	名古屋市東区武平町4-17	TEL (97) 9324
福岡出張所	福岡市高砂1~14街区1号	TEL (2) 5485

海外在住の方々の為に

SEKONIC INC., U. S. A.

130 West 42nd St., New York 36, N. Y.

SEKONIC HAMBURG

**% F. Kanematsu & Co., GmbH, Hamburg 11, Kajen 10,
W. Germany**